

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年1月25日(2023.1.25)

【公開番号】特開2021-171340(P2021-171340A)

【公開日】令和3年11月1日(2021.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-053

【出願番号】特願2020-77932(P2020-77932)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 326Z

A 63 F 7/02 315A

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月17日(2023.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

所定条件の成立に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を発生する遊技機において、  
遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

遊技球が入賞不能な閉状態と、遊技球の入賞が容易な開状態と、に変換可能な普通変動入賞装置と、

遊技球が入賞可能な始動入賞口と、を備え、

前記遊技制御手段は、

30

前記始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記ゲームのうちの第1ゲームの実行権利となる第1始動記憶を記憶可能であり、

前記普通変動入賞装置への遊技球の入賞に基づき前記ゲームのうちの第2ゲームの実行権利となる第2始動記憶を記憶可能であり、

前記普通変動入賞装置の制御状態を、第1制御状態と、該第1制御状態よりも遊技球の入賞が容易な第2制御状態と、で制御可能であり、

前記特別結果として条件装置の作動を伴う大当たりが導出された場合には、前記特別遊技状態として大当たり遊技状態を発生し、

前記ゲームの結果が前記大当たりとなった場合には、前記特別遊技状態の終了後に前記普通変動入賞装置の制御状態を前記第2制御状態とすることが可能であり、

40

前記第2ゲームでは、前記特別結果として条件装置の作動を伴わない小当たりが導出される確率が、前記大当たり又ははずれ結果が導出される確率よりも高く、

前記大当たりに基づく前記特別遊技状態の終了後に最初に実行されるゲームの変動時間を、当該ゲームの実行中に発生した前記第2始動記憶に基づくゲームの変動時間よりも長くすることが可能であることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

所定条件の成立に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を発生する遊技機において、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

遊技球が入賞不能な閉状態と、遊技球の入賞が容易な開状態と、に変換可能な普通変動入賞装置と、

遊技球が入賞可能な始動入賞口と、を備え、

前記遊技制御手段は、

前記始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記ゲームのうちの第1ゲームの実行権利となる第1始動記憶を記憶可能であり、10

前記普通変動入賞装置への遊技球の入賞に基づき前記ゲームのうちの第2ゲームの実行権利となる第2始動記憶を記憶可能であり、

前記普通変動入賞装置の制御状態を、第1制御状態と、該第1制御状態よりも遊技球の入賞が容易な第2制御状態と、で制御可能であり、

前記特別結果として条件装置の作動を伴う大当りが導出された場合には、前記特別遊技状態として大当り遊技状態を発生し、

前記ゲームの結果が前記大当りとなった場合には、前記特別遊技状態の終了後に前記普通変動入賞装置の制御状態を前記第2制御状態とすることが可能であり、

前記第2ゲームでは、前記特別結果として条件装置の作動を伴わない小当りが導出される確率が、前記大当り又ははずれ結果が導出される確率よりも高く、20

前記大当りに基づく前記特別遊技状態の終了後に最初に実行されるゲームの変動時間と、当該ゲームの実行中に発生した前記第2始動記憶に基づくゲームの変動時間よりも長くすることが可能であることを特徴とする遊技機。